

10 水稲直播栽培(鉄コーティング等)の導入

<直播栽培の特長>

育苗が不要で、刈取りが遅れることで労力が分散し、面積拡大が可能となり所得増大が期待できます。

<JA全農がすすめる鉄コーティング水稲直播とは>

冬の農閑期に種子の準備が可能、コーティング時の発熱による種子伝染病害の抑制、鳥害に強い、表面播種であり散播が可能、などの特長があります。

【経営面のメリット】

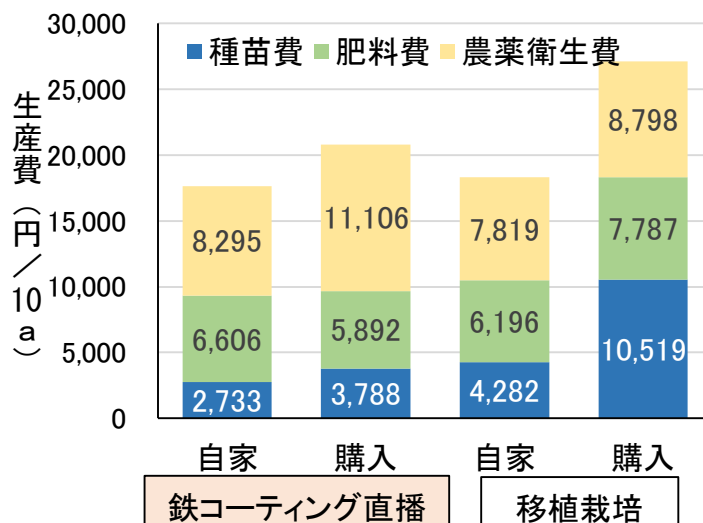
1. 育苗が不要なので育苗ハウス不足が解決できる。
2. 鉄コーティング種子は保存期間が長いため、冬農閑期にコーティング作業が可能で、春作業を分散できる。
3. 上記1. 2. の解消により、水稲面積の拡大、育苗ハウスの有効活用による所得増大が期待できる。
4. 移植に比べ7~10日程度収穫が遅れるため、秋収穫作のピークを調整できる。

【作業面のメリット】

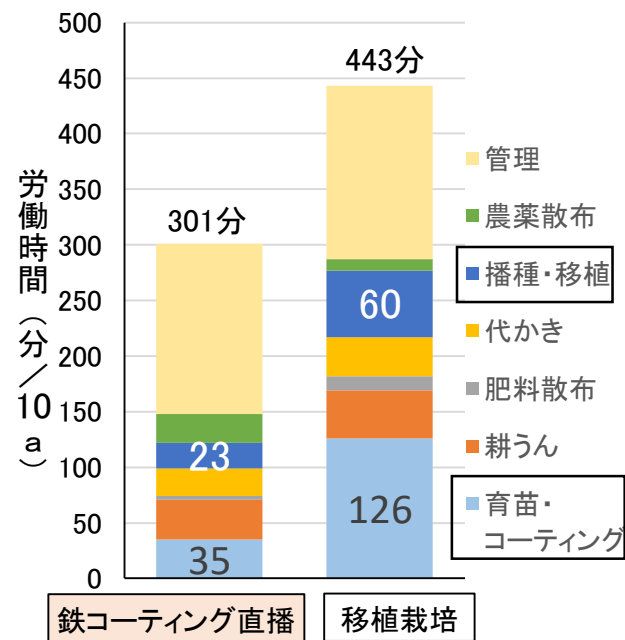
5. 播種方法は、乗用播種機(条播、点播)、無人ヘリ・ドローンや動力散布機などによる散播が可能。
6. 散播は、乗用播種機に比べて労働費(労働時間)が削減できる。



ドローンによる播種



栽培様式や作業委託における生産費(一部)の比較
※全国2ha以上直播実施した経営体調査(2014~2015年)



春作業にかかわる労働時間